

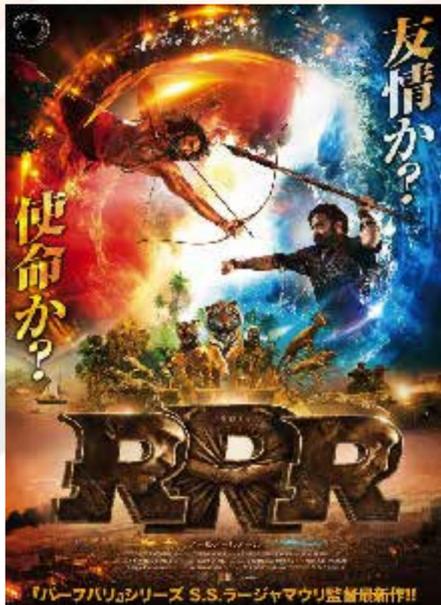
Vol.1

祝「RRR」アカデミー賞受賞! 注目されるインド映画



2022年に日本で公開された**インド映画『RRR』**は大きな話題となりましたね!**同作は第95回アカデミー賞の歌曲賞(主題歌賞)を受賞しました。**インド映画が同部門にノミネート・受賞するのは初めてということで、世界的にインド映画の評価が高まっていることがよくわかります。今回は世界的なムーブメントとなりつつあるインド映画についてご紹介します。

世界的大ヒット「RRR」



大ヒット公開中!
©2021 DVV ENTERTAINMENTS LLP. ALL RIGHTS RESERVED.

🇮🇳 インドは世界一の映画大国!

映画大国といえば、アメリカを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか?しかし、実は世界一の映画大国はインドなんです。右の表を見ると、アメリカの年間映画制作本数は660本なのに対して、**インドは世界最多の1,986本**と約3倍もの映画が制作されたこともあるんです。

インドと同じく、10億人を超える人口の中国でも874本と、インドの半分以下の制作本数。いかに多くのインド映画が制作されているかがわかりますね。

制作されている映画も多彩で、皆さんがまず思い浮かべる「歌って踊るインド映画」はもちろん、社会問題を取り上げたシリアスなものなど、幅広いジャンルの映画があるんです。

映画制作本数 ランキング	
🇮🇳 1位 インド	1,986本 (2016年)
🇨🇳 2位 中国	874本 (2017年)
🇺🇸 3位 アメリカ	660本 (2017年)
🇯🇵 4位 日本	594本 (2017年)
🇰🇷 5位 韓国	494本 (2017年)

🇮🇳 インド映画=ハリウッド映画?

インド映画はハリウッド映画と呼ばれますが、すべてのインド映画がハリウッド映画ではないことをご存知でしたか?たとえば2010年のインドアカデミー賞で作品賞ほか多数の賞を受賞した『**きっと、うまくいく**』はハリウッド映画ですが、『**RRR**』は**トリウッド映画**、1998年に日本公開された『**ムトゥ 踊るマハラジャ**』は**コリウッド映画**と呼ばれています。何故同じインドで制作された映画なのに、呼び名が変わるのでしょうか?その理由は、制作拠点と映画で使われている言語にあります。紹介した3作品は、制作拠点・オリジナル版で使われている言語が、右の表のように異なっているんです。

代表的なインド映画の制作拠点と言語

	ハリウッド映画	トリウッド映画	コリウッド映画
拠点	ムンバイ	ハイデラバード	チェンナイ
言語	ヒンディー語	テルグ語	タミル語
代表作	『きっと、うまくいく』(2010)	『RRR』(2022)	『ムトゥ 踊るマハラジャ』(1998)

インドの公用語はヒンディー語ですが、インドではヒンディー語以外にも、テルグ語、タミル語をはじめとして、方言も含めると**約600もの言語が話されている**んです。そのため、ハリウッド映画、トリウッド映画、コリウッド映画以外にも、コルカタを拠点とするベンガル語映画や、ハリウッドと同じくムンバイを拠点とするマラーティー語映画など、言語圏毎に映画産業が栄えています。**異なる地域で制作された映画同士が刺激しあうことで、今後もインド映画は大きく成長していきそうですね!**

🇮🇳 インド映画にますます注目!

インドは世界一の映画大国で、地域毎に異なる言語で映画が制作されているのが特徴です。また、急速に進むデジタル化などの変化も起こりつつあり、『**RRR**』の世界的ヒットは、**インド映画ムーブメントの始まりに過ぎないかもしれません!**インド映画のますますの発展に注目してみてください。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。